

平成28年度自己評価結果公表シート

浜寺太陽幼稚園

1. 園の教育目標

「愛に基づく教育」を基本理念とし、子どもたちの基本的な生活習慣（挨拶をする。自分のことは自分です。人に迷惑をかけない等。）の育成を土台とした保育の中で、健康な身体、豊かな心、個性あふれる感性、自主性（意欲）、思考力等の涵養を目指すと共に、個人差を持った幼児達が様々な形で関わり合い、刺激を受けて育ち合いながら、社会性を育み、優しい心を育てることを教育目標としている。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

園の教育理念・教育方針のもと、その教育目標にそった、評価項目に従って自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいく。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
幼稚園の教育課程の実施において教職員の共通理解を深める	新幼稚園教育要領を全教職員がしっかりと理解し、現場の保育内容に反映できるように、様々な事例に合わせて話し合いを行っている。
特別支援が必要な子どもの理解を深め、情報を共有する	園内および園外の研修等に積極的に参加している。 また保護者との連絡や話し合いの場を多く設け、園や家庭での様子を把握し、子ども達それぞれに寄り添った対応を行っている。
食育を充実させる	自園給食を行い、子どもたちが“食事の時間が楽しくなるような給食”を目指して、安心・安全な食材により、徹底した栄養バランスと衛生管理に基づいて、園内の厨房で調理された、出来たての温かい食事を提供している。 食育を保育の重要な柱として、カリキュラムの中に明確に位置付け、園全体で取り組んでいる。
笑顔とあいさつの励行	あいさつについては園内の意識の高まりが見られる。励行に向けくり返し、その大切さを伝え自然にあいさつが出来るよう取り組んでいる。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

教育目標を全教職員が共通認識し、その状況を話し合うことにより、本園の方針を具現化でき、実践していくことができた。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
新制度移行についての検討	未来に求められる幼稚園の在り方を考え、新制度移行について教職員の理解を深め、検討する。
教職員の指導力の向上	他のクラスの保育見学を積極的に行い、教職員間で意見交換しながら、より良い教育内容を充実させるために努力する。 また特別支援が必要な子どもへの配慮について、情報の共有を徹底する。
安全管理の徹底	これまでの不審者に対する危機管理マニュアル、津波の避難だけではなく、園児の安全を守るため、大規模な自然災害を想定した危機管理マニュアルの作成と全教職員への徹底をはかる。

6. 学校関係者の評価

特に指摘すべき事項はなく、安心と充実のカリキュラムで保育が行われている。園児・保護者に対して丁寧な対応をしてくれている。常に新しい目線で取り組み、保護者の意見にも耳を傾けてくれているなど、妥当であると認められる。

7. 財務状況

当法人の監事の監査及び公認会計士監査により、適性に運営されていると認められている。